

2022年(令和4年)9月28日(水) NO 174号

K-PURO NEWS

【事業所】

- ◆ 商号 株式会社 ケイプロ <https://k-puro.co.jp>
- ◆ 屋号 都市防犯プランニング社 mail info@k-puro.co.jp
- ◆ 本社 埼玉県蕨市中央1-7-1 シティタワー蕨 TEL 048-446-9445
- ◆ 千葉支店 千葉県千葉市中央区新町1-20 江澤ビル TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備 弊社のセキュリティプランに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用



防犯カメラ 周辺環境・建物構造・人的要因を分析し、用途に沿ったカメラ選別と設置
メンテナンス 消防設備点検・消防設備工事の消防関連事業および AED 斡旋の管理業務

【加盟団体】



- RID2770 川口モーニングロータリークラブ <https://kawaguchi-morning.jp/>
- NPO 法人 さいたま起業家協議会 <https://saitama-kk.org/>
- 公益社団法人 千葉東法人会 <https://www.chibahojin.jp/>
- 公益財団法人 モラロジー道徳教育財団 <https://www.morology.jp/>

【応援団体企業】



今月の言葉

生き方の法則



徳(とく)と毒(どく)はよく似ている。
徳は毒のにごりを取ったものだ。
毒になることでも、そのにごりを取れば徳になるのである。
どんないやなことでも、心のごりを捨てて勇んで引き受ける
心が徳の心だ。
いやなことでも、辛いとか嫌とか思わないでやる。

喜んで勇みきって引き受ける。働きつとめぬく。

それが徳のできてゆく土台だ。

ばからしいとか、いやだなあという、にごった心をすっかり取って、感謝と歓喜で引き受けるなら、辛いことほど徳になる。

常岡 一郎

今月の良い話

販売の極意は利他の心で未来を売る

私はどんな商品であっても、常に「未来を売っている」と思っています。お店に並んでいる商品を見ると、「ああ、未来がいっぱいだ」って思うんです。例えば、お茶を買いたいとコンビニに入った人は、まだお茶を飲んでいません。ということは、お客様にとって買い物とは、今でなく未来のことなんです。甘海老のお煎餅だったら、「皆さんがお刺身で食べていた甘海老の甘い、甘いおいしさがこのお煎餅に詰まっています！」というように、写真や映像を見せながら、お客様のイメージ力を使って商品の魅力をお伝えすると、売り上げが全然違ってきます。

多くの企業が年度末になると決算セールをしています。目先の売り上げ、ノルマを追うと、どうしても自分たちの都合を優先し、お客様の未来が見えなくなってしまいます。それに自分さえノルマを達成すればいいんだというように、会社の仲間と協力していこうという雰囲気もなくなっていきます。



ですから、接客をする時には、「お客様の利益が十、こちらの利益はゼロでもいい」と私は伝えています。極端に思われるかもしれませんが、少しでも自分の欲が出ると、商品単価を上げようとか、誤魔化して売ってしまおうと強引な販売になってしまい、結果的にお客様が離れてしまいます。無理なノルマは歪みを生みます。長い目で見ると利他の心、博愛の精神でやっているところが、やはり成長しています。

もともと私は陶芸をしていたんです。私は若い頃から人と接するのが苦手で、陶芸家になれば人と話さずに済むと思ったんです。陶芸をするには、ロクロや窯を買ったり、まとまったお金が必要になります。そこで求人誌でアルバイトを探していたところ、「プロモーションスタッフ募集」「日給八千円」という広告が目に入ったんですね。面接を受けに行ってみると「販売員を派遣する会社です」と。「1回だけでいいから!」「ただ立っているだけでいいから!」と引き止められ仕方なく働くことになりました。今でも忘れられないのが、お客様が化粧水を持って質問に来られた時、私はあろうことか逃げ出してしまったのです。店長にもものすごく怒られて売り場ですっと泣いていました。これが販売員としての私のスタートです。

販売の現場を離れ、「商品って何だろう」「販売って何だろう」と改めて考えた時、「感謝」の大切さにはっと気づかされたんです。コンビニで100円のシュークリームを買ってかぶりついた時、「何でこんなにおいしいのだろう。これをつくるためには、牛を育てる人、卵を産む鶏を育てる人、莫大な費用と苦勞をかけて下さっている方がいて、私ははじめて食べさせて頂いているんだなあ」という思いが込み上げてきました。それは販売の仕事も同じで、多くの作り手の方の苦勞と結晶を自分は売らせていただいている、感謝しないといけないと気づいたんです。それで、自分は商品をつくることはできないけれど、その良さは多くの人に伝えることができるはずだと、販売員に戻ることを決めました。また、その気づき以来、商品を単なる「もの」ではなく、「人」だと思って売るようになり、そこからどんな売り場に派遣されても売れ続けるようになりました。先ほど言ったように、売り手の姿勢はやはりお客様に伝わるんですね。

橋本 和恵 (売れる売れる研究所 代表)

記事提供 致知出版社

今月の良い話

アホの定義は不可能なことはない

世の中には大きく分けて2種類の人間しかいません。
どうせ自分なんてこんなものだよと思って生きている「否定的錯覚型」と、
本田宗一郎さんのように、小さな町工場の親父であってもみかん箱の上に乗って、
「世界のホンダになる！」と叫んでいるような「肯定的錯覚型」。
たとえ何回躓いても「次はできる、自分はできる」と、そういう錯覚がずーっと続かない限り、絶対に成功者にはならないんですね。
だから、要するに成功者とは何かといえば、常識で考えれば99%は無理だと思われることを「絶対にできる！」と思っている、ただの“アホ”なんです。

私は仲間の経営者の方々と集まって夢を語り合う「アホ会」というのを長いことやらせていただいているんです。
アホの定義は、「不可能なことはない！」と知っていること、
そして人を喜ばせることが大好きなこと。
だから当日会場にきたらマイナスな言葉は一切禁止にして、仲間がどんなとてつもない夢を語っても「おまえならできる！」と言わなきゃいけない。
アホ会では「あなたは日本一のアホだ」と言われると、みんな大喜びです(笑)。
一部上場企業の社長もたくさんいます。



最近でこそイメージトレーニングが重要だということは十分認知されていますが、僕は1970年代から取り組んできました。
当時日本の有名大学に「参考になるような話を聴きたい」と電話をしましたが、脳の病の研究はしていても、機能研究はやっていなかった。
だから本当に手探りで始めて、最初の8年間は失敗ばかりでした。
しかしその間、何十万人という方々のデータをいただき、それが後の大きな財産になったんですね。
皆さんに必ず何項目かの設問に答えていただくのですが、育ちも生まれも仕事も違いますから、当然違うところに○をつけるわけです。
ところが、成功している人はみんな同じところに○をつけている。

その一つが、「自分には運があると思う」というところだったのです。ああ、そうかと。
脳は10万台のパソコンよりも高性能ですから、脳に「自分は運がある、ツイている」というソフトが組み込まれていれば、目標をインプットすると、こうしたらできる、ああしたらできると、「できる」ことばかりがイメージとして浮かんでくる。
そういう状態であれば、確かにイメージトレーニングも効果的です。
しかし、脳に「ツイていない」というソフトが組み込まれていると、過去の体験から「できなかった」「やっぱり無理」といったトラウマばかりが検索され、できない姿ばかりがイメージされる。だから成功するには、まずは脳を「自分には運やツキがある」というソフトに替えないといけない。そのことに気がついたのです。
本当に優秀な人たちには、共通して運を感じる力「運感力」というものがあるんです。
で、運があると感じている人間は、根拠のない自信を持っているんです。
根拠があれば自信なんて誰でも持てますから。

西田 文郎 (サンリ会長)

記事提供 致知出版社

事件ファイル NO174 110 番映像通報システムの開始



全国の警察が 10/1 から、110 番をした通報者から現場の動画映像を送ってもらう新システムの試験運転を始める。

状況を映像で確認できるほか、その場にいた人物の特定などにも活用できる。本格運用は来年 4 月。

110 番を受けた通信指令室で必要と判別した場合、専用 URL を記載した SMS を送信する。

通報者がスマホやタブレット端末で URL に接続し、口頭で伝えられる数字 4 桁のコードを入力するとビデオ通話となり映像を共有できる。映像は現場へ向かうパトカーも共有する。通報者の位置情報も確認できるため、状況説明を大幅に省くことができ、正しく利用することで逃走した犯人の人相着衣や車両の確認など、検挙率向上にも繋がるものと思われる。

プロ太の小話集 NO174 「国旗ロゴ色」

アクアフレッシュ株式会社の社長が、ロシアのプーチン大統領と密談していた。

社長は言った。

「大統領閣下、お国ではソビエト時代の歌詞だけ変えて、ロシアの国歌にされたそうですね。さらには、国旗の方も、かつての赤いソ連国旗に戻すことを検討されていると聞き及んでおります。そこで提案なのですが、新しい国旗の下に小さくのアクアフレッシュのマークを入れていただければ、我が社は閣下に五千万ドルをお支払いする準備がございます。」

「ちょっと失礼・・・。」プーチン大統領は、横にいる秘書官に声をかけた。

「おい、ペプシコーラとの契約は、いつまでだったかな？」



編集後記

サンリの西田会長の言葉を 2 か月続けて掲載しました。この方、素晴らしいですね。

気づきをたくさんいただきます。

Jリーガーやプロ野球選手、プロゴルファー、トップアスリートをはじめ、経営者やビジネスパーソンなど一流の方の脳力開発に携わってこられました。大リーグで活躍中の大谷翔平選手も研修を受けられた一人だそうです。徳を持って利他の心を貫き、アホになって自分には運があるとインプットすると、成功への近道になるかもしれません。



注：プロ太とは、写真のK-PURO 番犬です (体長 10 メートル・体重 1 トン・無敵無敗)